

令和3年度 自己評価および学校関係者評価書

令和4年2月25日
函館市立亀田中学校

1 本年度の重点教育目標

自分の考えをもち、主体的に学び続ける生徒の育成

2 本年度の取組の重点

- 1 すべての生徒に個別最適な学びの環境を調える
- 2 生命最優先主義の継続。安心安全な学びの環境を整える
- 3 生徒指導の機能を明確にした自治（共鳴）力の向上、そして言葉で伝え合うことの尊重と育成
- 4 「開かれた教育課程」を活かした「信頼される」亀田中学校の存在価値をともに高めていくために

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
確かな学力（知）	(1) 授業力向上への取組と校内研修の充実	a		A	A	・適切に進められてる
	(2) 学習規律の確立へ向けた組織的な取組	a		A	A	・適切に進められてる
	(3) 補充学習等への取組（長期休業中の学習会等）	a		A	A	・適切に進められてる
	(4) T T 及び個別指導への対応	a		A	A	・適切に進められてる
	(5) 家庭学習習慣定着への取組（小中連携・マイプラン等）	a		A	A	・適切に進められてる
	(6) 学力向上に向けた組織的な取組（前後期制・チャレンジテスト等）	a		A	A	・適切に進められてる
	(7) 朝読書の工夫・改善	a		A	A	・適切に進められてる
豊かな心（徳）	(8) 組織的・機動的な教育相談及び生徒指導体制の確立	a		A	A	・適切に進められてる
	(9) 特別支援教育への理解と研修の充実	a		A	A	・適切に進められてる
	(10) あいさつ運動、ふれあい活動の充実	a		A	A	・適切に進められてる
	(11) 道徳の時間を中心とした豊かな心を育む取組の充実・改善	a		A	A	・適切に進められてる
	(12) 生徒会を中心とした自主的活動の活性化（リーダー育成）	a		A	A	・適切に進められてる
	(13) ICT 機器・ゲーム機器の利用への組織的な指導、啓発	a		A	A	・適切に進められてる
	(14) いじめの未然防止に向けた予防開発的な取組	a		A	A	・適切に進められてる
健やかな体（体）	(15) 宿泊研修、見学旅行のねらい、目標の達成	a		A	A	・適切に進められてる
	(16) 性教育講話をはじめ、けが防止や健康安全配慮に関する啓発活動の取組の充実	a		A	A	・適切に進められてる
	(17) 保健体育科および部活動を中心とした体力向上への取組の充実や体育大会の充実・改善	a		A	A	・適切に進められてる
	(18) 校内の安全点検等、危険箇所の排除	a		A	A	・適切に進められてる
信頼される学校（信）	(19) SC をはじめ外部関係機関（児相等）との連携	a		B	B	・連携の在り方の工夫・検討が必要
	(20) 学校だより・学級通信・学年懇談会等による情報発信	a		A	A	・適切に進められてる
	(21) 参観日等の授業の公開や実施方法の工夫・改善	b	・コロナ禍での方法改善	A	A	・適切に進められてる
	(22) 危機管理への取組（災害発生時・生徒指導上等）	a		A	A	・適切に進められてる
	(23) 小中連携（授業見学・交流、体験入学・説明会等の実施）の充実・改善への取組	b	・コロナ禍での方法改善	A	A	・適切に進められてる
	(24) キャリア教育（職業調べ、職場体験学習）の充実	a		A	A	・適切に進められてる
	(25) 保護者との連携（亀田中学校後援会活動等）の充実	a		A	A	・適切に進められてる
	(26) CS 等、地域と学校が協働的に活動するための組織づくり	a		A	A	・適切に進められてる
	(27) 働き方改革の推進	a		B	B	・部活動指導者の外部人材活用を積極的に検討

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた (8割以上)
b	概ね達成できた (6割以上)
c	十分ではない (4割以上)
d	達成できなかった (4割未満)

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。